



はじめに

興部町長

はざま
裕

一 寿

本町は、オホーツク海沿岸の中央部に位置し、豊かな自然環境を背景に酪農と水産業を中心としてまちづくりを進めてきましたが、その歴史は明治22年に漁場を求めて先人が沙留に定住してから始まり、今年で開基120年を迎えることになりました。開拓開墾に始まり度重なる風水害、さらには想像を絶する大冷害などを克服しながら、子どもたちへの教育をはじめ、道路をつくり、電線を引き、病院をつくり、水道を整備するなどの基盤整備を進めながら今日の興部が築かれてきましたが、特に大きく産業振興を図り基盤整備を行うためには、中長期の計画づくりが必要なことから、本町では昭和46年にまちづくりの指針となる「第一期興部町総合計画」を策定して以来、10年毎に計画を立て、それに則りまちづくりを進めてまいりました。

平成10年度を初年度としてスタートした「第四期興部町総合計画」は、まちづくりの基本理念を「オホーツク出会いの大地・おこっぺの創造」と定め、住民生活や福祉の充実を図るよう取り組んでまいりましたが、国における地方分権や市町村合併の推進をはじめ、地方交付税の大幅削減などの構造改革を推し進めたことにより、特に後期計画については大幅な変更を余儀なくされましたが、町民の皆様のご理解と関係機関のご支援ご協力のもと、概ね計画を達成することができました。

この度策定しました「第五期興部町総合計画」では、町の長期的な発展を目指し、「自主自律・まちづくりの役割分担・定住の促進」の三点を発展するための課題と捉え、その実現を図るとともに、住民との協働により「魅力・活力・協力が融和し発展する町“おこっぺ”」を目指すべき町の将来像と位置付けましたので、施策の遂行にあたりましては、本

計画の構想を十分に踏まえ、取り組むこととお約束します。

結びになりますが、本計画の策定にあたり、「まちづくりアンケート調査」や「町民の意見を聴く会」において貴重なご意見やご提言をいただきました町民の皆さんをはじめ、熱心にご審議いただきました総合計画策定審議会委員並びに町議会議員の皆様に対して心から感謝とお礼を申し上げますとともに、今後のまちづくりに対しましてより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成20年3月

興部町民憲章

わたくしたちは、雄大なオホーツクと緑ゆたかな自然に恵まれた興部の町民です。

わたくしたちは、先人の偉業をたたえ、このまちに住むことにかぎりない喜びと誇りをもち、明るく豊かなまちをつくるため、ここに町民憲章を定めます。

1. 健康ではたらき、楽しい家庭をつくります。
1. きまりをまもり、明るい社会をきずきます。
1. 自然を愛し、美しいまちをつくります。
1. 教養を深め、かおり高い文化をそだてます。
1. 未来に夢をもち、豊かな郷土をつくります。

昭和49年11月3日制定